

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑪ 公開実用新案公報 (U)

昭55-136409

⑫ Int. Cl.³
A 45 D 40/26

識別記号

庁内整理番号
7001-3B

⑬ 公開 昭和55年(1980)9月29日

審査請求 有

(全 3 頁)

⑭ マスカラーの塗布杆及び容体

号千石荘

⑮ 実 願 昭54-37173

⑯ 出 願 人 穴釜敦子

東京都練馬区貫井3丁目38番7

⑰ 出 願 昭54(1979)3月22日

号千石荘

⑱ 考 案 者 穴釜敦子

⑲ 代 理 人 弁理士 庄司建治

東京都練馬区貫井3丁目38番7

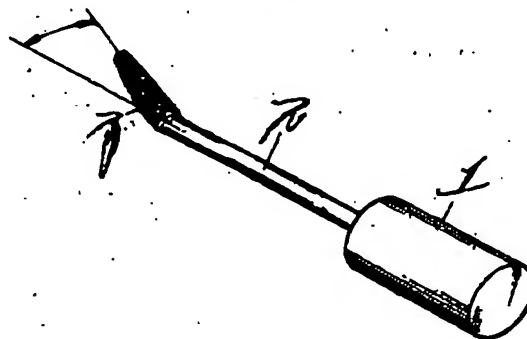
⑳ 実用新案登録請求の範囲

用新案登録請求の範囲第1項記載のマスカラー
の塗布杆及び容体。(1) キャップ1付き直線状の塗布杆2の先端に取
着した塗布用刷毛部3を、塗布杆2に対し若干
傾斜させて形成したことを特徴とするマスカラ
ーの塗布杆及び容体。

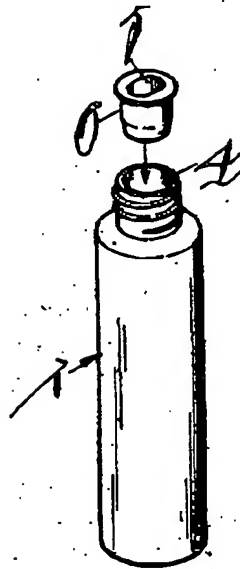
図面の簡単な説明

第1図は本考案マスカラーの塗布杆の斜断面図、
第2図は同容体の分解斜断面図、第3図は同容体の
平面図、第4図は第3図におけるA-A線の一部
切欠断面図、第5図は使用状態を示す図である。(2) キャップ1付き直線状の塗布杆2の先端に取
着した塗布用刷毛部3を、塗布杆2に対し若干
傾斜させ形成すると共に、塗布杆を挿入する容
体イの開口部4に、楕円形状挿入口5を有する
小キャップ6を嵌め込んで容体イを形成した実1……キャップ、2……塗布杆、3……塗布用
刷毛部、4……開口部、5……挿入口、6……キ
ャップ、イ……容体。

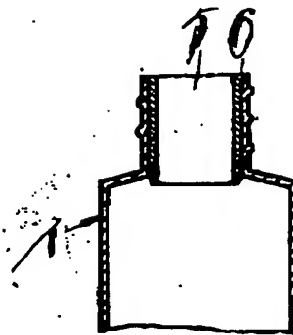
第1図



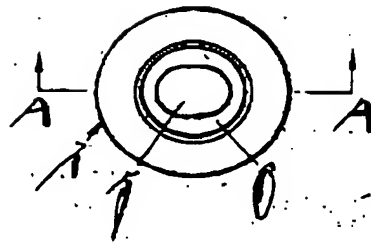
第2図



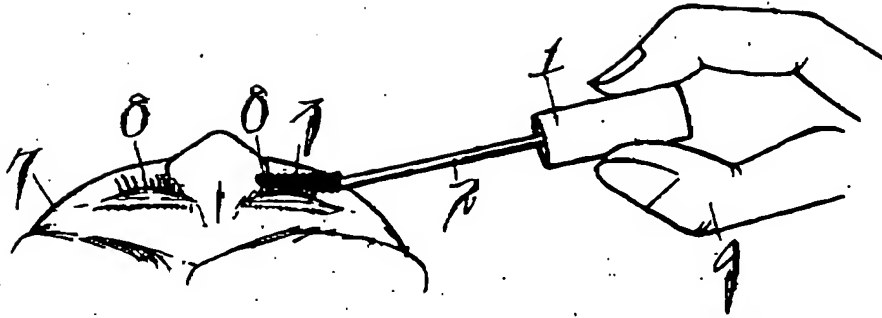
第4図



第3図



第5圖





実用新案登録願

昭和54年3月22日

特許庁長官 熊谷 善二 殿

1. 考案の名称 ^{フリガナ} マスカラーの塗布杆及び容体 ^{トフカン**} ^{コクタイ}

2. 考案者

^{フリガナ}
住 所
^{フリガナ}
氏 名

実用新案登録出願人と同じ

3. 実用新案登録出願人

^{フリガナ}
住 所 東京都練馬区貫井3丁目38番7号千石荘 ^{千石荘}
^{フリガナ}
氏 名 (名称) 穴 釜 敦 子
(国 籍)

4. 代理人 千 104

住 所 東京都中央区銀座5丁目5番13号坂口ビル
弁 理 士 (6682) TEL (572) 3935番
氏 名 庄 司 建 治

5. 添付書類の目録

✓ (1) 明細書 1通
(3) 願書副本 1通

(2) 図 面 1通
✓ (4) 委任状 1通

54 037173

方式
審査



124059

明 細 書

1. 考案の名称 マスカラーの塗布杆及び容体

2. 実用新案登録請求の範囲

(1) キャップ(1)付き直線状の塗布杆(2)の先端に取着した塗布用刷毛部(3)を、塗布杆(2)に対し若干傾斜させて形成したことを特徴とするマスカラーの塗布杆及び容体。

(2) キャップ(1)付き直線上の塗布杆(2)の先端に取着した塗布用刷毛部(3)を、塗布杆(2)に対し若干傾斜させ形成すると共に、塗布杆を挿入する容体(1)の開口部(4)に、横円形状挿入口(5)を有する小キャップ(6)を嵌め込んで容体(1)を形成した実用新案登録請求の範囲第1項記載のマスカラーの塗布杆及び容体。

3. 考案の詳細な説明

従来のマスカラー用塗布杆は塗布用刷毛部を含めて直線状であつたがために、眉毛へのマスカラー塗布中に上記塗布杆等が付着のマスカラーが頬骨部等に厄々にして付着し、不快感を与えると共に、眉毛以外に付着したマスカラーを除去する煩雑な化粧作業工程が入る等の弊害が多々存していた。

しかるに本考案は上述の如き弊害を一挙に解消し、簡単且確実に、しかも迅速にマスカラー塗布が気分良くできると共に、容体内に挿入した塗布杆の抜け出し時において、塗布用刷毛部が引掛らずに極めてスムーズに引き出すことができるマスカラー^{の塗布杆及}び容体を得ることを目的としたものである。

次に本考案の実施の一例を図面に依拠して説

明すれば、(1)はキャップ、(2)はキャップ(1)の一端部に固着した直線状の塗布杆であり、該杆(2)の先端には、直線状の塗布杆(2)に対し、若干傾斜させ、例えば30度前後の角度を持つた塗布用刷毛部(3)を延設する。(4)は容体(1)の開口部、(5)は小キャップ(6)に形成した楕円形状の挿入口であり、この小キャップ(6)は開口部(4)に嵌着させる。(7)は化粧中の女性の顔部、(8)は眉毛、(9)はキャップ(1)をつまんでいる手指である。

(1) 本考案は上述のとおりマスカラーの塗布時において、塗布杆(2)の先端の刷毛部(3)が塗布杆(2)に対して約30度前後の角度で若干傾斜しているので、第5図々示の如く刷毛部(3)と眉毛(8)とがやや平行状態となつてマスカラーの塗布をスムーズに行わしめると共に、塗布

杆(2)と頬骨部等との間隔を常時広く維持できるので、頬骨部等にマスカラーを不意に付着させることがなく、従来応々に存していた眉毛以外の付着による不快感を一挙に解消し、化粧を楽しく心地よく行わしめる優れた利点を有している。

(2) 更に本考案は容体(1)の開口部(4)に嵌着する小キャップ(6)に楕円形状の挿入口(5)を形成したので、塗布材(2)と刷毛部(3)とを取り出すときに、挿入口(5)を形成する楕円形部の上、下両曲り部に刷毛部(3)の基部と先端部とを夫々合致させて引き出せば、塗布材(2)と刷毛部(3)が何ら引掛ることなくスムーズに取り出しできる利点を有している。

(3) 又本考案の塗布杆(2)は構造が簡単なので、

容易に製作できるし、更に折曲のおそれも全く存しない等、実用上極めて優れた利点を多数併有している。

4. 図面の簡単な説明

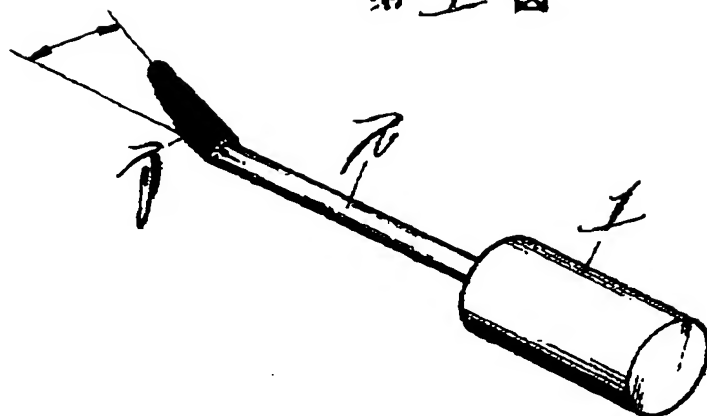
第1図は本考案マスカラーの塗布杆の斜面図、第2図は同容体の分解斜面図、第3図は同容体の平面図、第4図は第3図におけるA～A線の一部切欠縦断面図、第5図は使用状態を示す図である。

(1)・・・キャップ、(2)・・・塗布杆、(3)・・・塗布用刷毛部、(4)・・・開口部、(5)・・・挿入口、(6)・・・キャップ、(7)・・・容体。

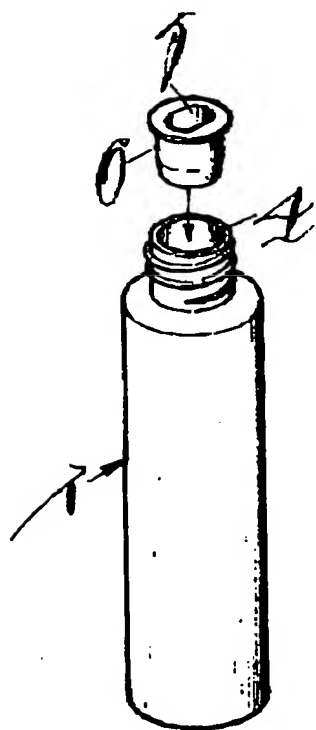
実用新案登録出願人 穴 釜 敦 子

代理人 弁理士 庄 司 建 治

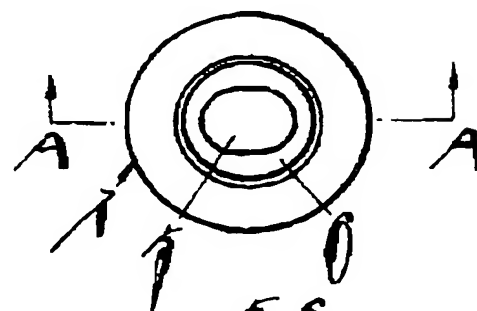
第 1 図



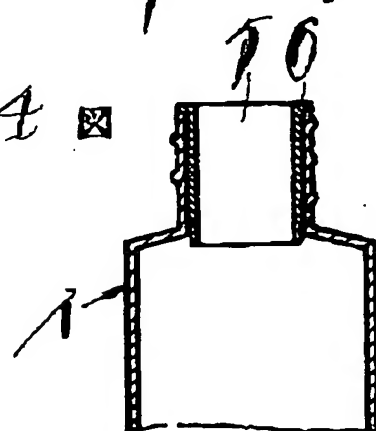
第 2 図



第 3 図

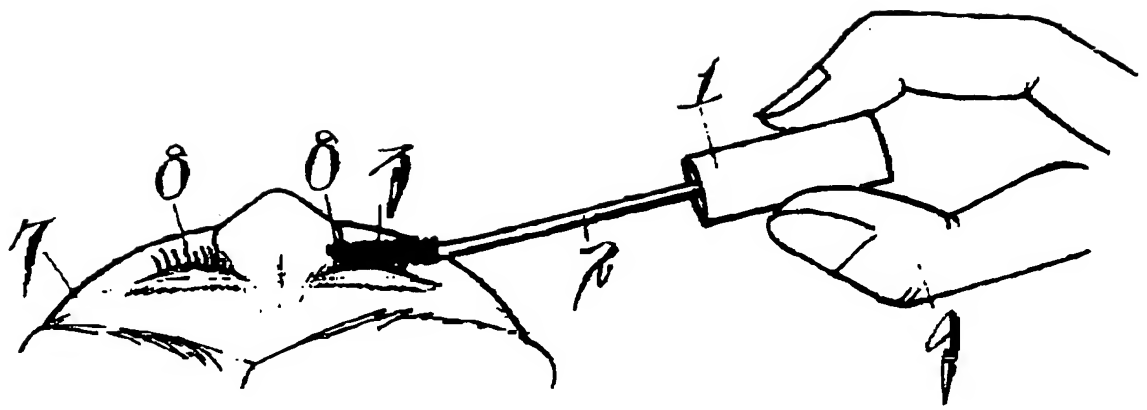


第 4 図



代理人 井 理 士
 大 塚 金 司
 敦 建
 子 治

第 一 圖



2/2

子治 敦建 金司 穴庄
 大題出錄案新用民
 士理井人題代

Cited Reference D3

D3

Japanese Utility Model Kokai No. 55-136409

Laid-opening date: 29 September 1980

Application No.: 54-37173

Filing date: 22 March 1979

Applicant: ANAKAMA, Atsuko (Ms), Tokyo

Title: Stick and receptacle for applying mascara

Claims:

1. A stick and a receptacle for applying mascara characterized in that an applicator brush 3 is slightly tilted relative to an applicator stick 2, said brush 3 being mounted to the end of the linear applicator stick 2 with a cap 1.

2. A stick and a receptacle for applying mascara as set forth in Claim 1, wherein the applicator brush 3 attached to the end of the linear applicator stick 2 with the cap 1 is formed slightly tilted relative to the applicator stick 2, and a small cap 6 having an oval-shaped insertion mouth 5 is fitted in an opening portion 4 of a receptacle (a) for insertion of the applicator stick 2.

Description of the Drawings:

Fig. 1 is a perspective view of the stick for applying mascara according to the invention;

Fig. 2 is a perspective view of the disassembled receptacle;

Fig. 3 is a plan view of the same receptacle;

Fig. 4 is a vertical, sectional view partly notched along the line A-A in Fig. 3; and

Fig. 5 is a view showing the state in use.

In the drawings:

1...Cap

2...Applicator stick

3...Applicator brush

4...Opening portion

5...Insertion mouth

6...Cap

(a)...Receptacle body